

# クマ、物価高騰、医療・介護危機打開し 県民の命と暮らし守る取り組みの強化を 達増知事に来年度岩手県予算に関する申し入れ



達増知事に申し入れる(左から) 吉田恭子副委員長、斎藤県議、(右から) 高田一郎県議、菅原則勝県委員長(12月8日)

達増知事は「今年は多事多難な年だった。申し入れを大いに参考にしながら来年度予算編成にあたりたい。早急に手を打たなければいけないものはスピード感をもつてやつていただきたい」と答えました。

12月8日、達増拓也知事に対し2026年度岩手県予算に関する申し入れをしました。内容は、(1)クマ出没から県民の命と安全を守る、(2)物価高騰から暮らしと営業を守り地域経済を立て直す、(3)大船渡市林野火災と東日本大震災津波の復興、(4)命と暮らしを守る新たな県政めざしてーの4部構成です。

斎藤県議は、クマの出没をリアルタイムで情報提供し、生活圏に現れたクマは被害が出る前に積極的に捕獲すべきだと強調。ハンター報酬の大額改善、箱わな増設など災害並みの緊急対策を求めました。

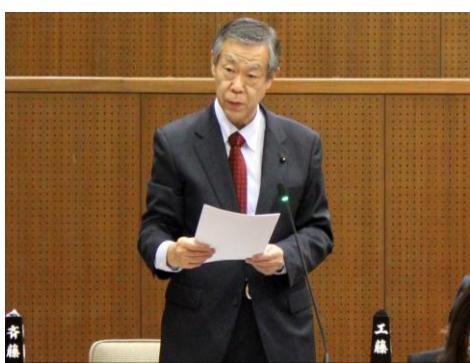
また、高市政権の物価高騰対策が一時しのぎにすぎないなか、県が中小企業の賃上げ支援金第3弾を27億円に拡充したのは重要なと評価。県内の医療・介護危機打開へ、国に

## 2026年度県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇クマ出没から県民の命と安全を守るため災害並みの対策を
- ◇参院選での審判を踏まえ消費税5%減税とインボイスの中止
- ◇コメ不足と価格高騰への対策、酪農・畜産農家への支援
- ◇大船渡市林野火災からの復旧・復興を進め、15周年を迎える東日本大震災津波の復興の現状と教訓の発信強化
- ◇医療・介護危機打開へ診療報酬・介護報酬等の大幅引き上げ
- ◇県立病院の経営計画(2025-2030)を見直し、医師・看護師の増員で県立病院を拠点にした地域医療の充実を
- ◇パワハラによる県職員自死事件を教訓に、ハラスメントを許さず人権が守られる社会と職場の実現を
- ◇男女賃金格差の是正など、あらゆる場でジェンダー平等を
- ◇教育費の無償化めざし子どもの権利を保障する教育に

12月  
県議会

## 全国初衆院定数削減に反対する意見書を採択



臨時県議会で質疑に立つ斎藤県議(12月24日)

12月24日の臨時県議会で、物価高騰から県民の生活と営業を守る補正予算477億円(うち物価高騰対策分は90億円)が可決されました。

斎藤県議は「今年は多事多難な年だった。申し入れを大いに参考にしながら来年度予算編成にあたりたい。早急に手を打たなければいけないものはスピード感をもつてやつていただきたい」と答えました。

臨時  
県議会

## 全国に先駆け新たな物価高騰対策 ツキノワグマ対策に2億2千万円余

県民と心ひとつに  
日本共産党  
斎藤 信の  
県政報告

2026年1月 No.193

発行:日本共産党岩手県議団事務局

斎藤信事務所 TEL. 019(651)1241

〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050

〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斎藤信  
ホームページ  
saito-shin.sakura.ne.jp



斎藤信事務所  
X (旧twitter)  
@saitoshin\_iwate



住みよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



の配備、箱わな購入、放任果樹の伐採、侵入防止柵への補助などに2億2千万円余を計上しました。

LPGガス価格高騰対策では使用者(中小企業を含む)に8億4千万円余を支給し、特別支援学校の給食費値上げ分に1100万円を補助。介護施設や障害福祉施設(7億4千万円)、医療機関(4億4千万円)に光熱費や食材料費の上昇に伴う経費の一部を支援します。ケア労働者の賃上げに必要な経費の一部支援については、医療機関(病院を除く診療所等)に約7億円、介護施設に約30億円、障害福祉サービス事業所に4億4千万円を補助します。

クマ対策では、ガバメントセンターの任用やクマよけスプレー

うな定数削減は行わないことなどを求めています。

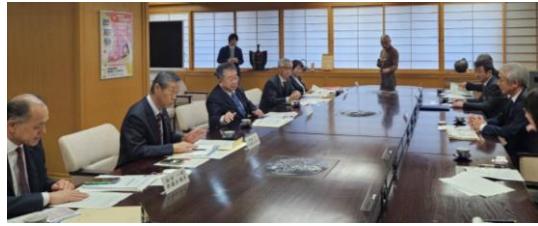
12月1日から最低賃金が時給1031円(79円増)へ大幅に引き上がる中、県独自の賃上げ支援金第3弾として時給60円以上引き上げた中小企業に従業員1人当たり6~8万円(最大50人分)を補助する27億円の補正予算を計上しました。

さらに、5年連続で全市町村での実施となる福祉灯油助成(1世帯7千円)も盛り込まれました。

金第3弾として時給60円以上引き上げた中小企業に従業員1人当たり6~8万円(最大50人分)を補助する27億円の補正予算を計上しました。

金第3弾として時給60円以上引き上げた中小企業に従業員1人当たり6~8万円(最大50人分)を補助する27億円の補正予算を計上しました。

## 小池晃書記局長とツキノワグマ被害の調査



県庁で佐々木副知事（右）から説明を受ける

11月28日、日本共産党の小池晃書記局長が来県し、ツキノワグマ被害の調査を行いました。

県庁では佐々木淳副知事と懇談。佐々木副知事は、地域住民の安全確保へ「人とクマとの軋轢を軽減していくことが重要だ」と強調。科学的な調査に基づくクマの生態や個体数の把握、鳥獣被害防止総合対策交付金の拡充など国への要望を述べました。

盛岡市内の商店会や町内会役員とも懇談し、「昼の時間帯と比べ夜間に飲食店を利用する客が激減した」「高齢者がクマに関する情報を得られない」など切実な声が寄せられました。



八重樫副知事（左）に要請する県母親大会実行委員会の皆さんと同席する県議団

## 県母親大会実行委員会の皆さんが県要請

12月18日、岩手県母親大会実行委員会は、10月に盛岡市で開

催された第70回県母親大会の申し合わせ・決議・宣言に基づく要請を行いました。

重点項目として、▼教職員の長時間労働の是正▼介護報酬の引き上げを国に求め、県としても訪問介護事業所の実態を調査し支援すること▼コメ危機打開へ、すべての農家の生産を支援し「価格保障・所得補償」を国に求めるこ

## 南昌みらい高校新体育館整備問題

# 覚書に反する矢巾町の対応は重大



文教委員会で質疑に立つ斎藤県議（12月5日）

県教育委員会と矢巾町が共同で整備を予定していた南昌みらい高校の新体育館は、矢巾町長の突然の「ゼロベースでの協議」の申し出により工事が中断、契約が解除されました。12月県議会には、請負業者に5900万円の損害賠償を支払う議案が提案され可決されま

した。斎藤県議は、県教委と矢巾町が2年半にわたる協議を重ね、計画を確認したうえで覚書が締結（24年5月30日）されたにもかかわらず、「体育館の仕様が変更された」との町長の指摘は事実経過を無視するものだと厳しく批判しました。県教委は9月県議会での斎藤県議の一般質問に対し、県単独で整備する方針を示しましたが、体育館の早期建設を求める町民の声と町議会意見書も踏まえ、可能性がわずかでもあるとすれば覚書に基づいた整備が近道ではないかと質しました。佐藤教育長は「県単独での整備を検討せざるを得ない」と表明したところですが、町側に照会をかけているところであり、適切に対応していきたい」と答えました。



農林水産委員会で質疑に立つ高田県議（12月5日）

高田一郎県議は農林水産委員会で鳥獣被害防止対策の抜本的な強化を求めました。一関市では、来年度の電気柵の補助が予定している予算をすでに強化を要求しました。

高田県議は農林水産委員会で鳥獣被害防止対策の抜本的な強化を求めました。一関市では、来年度の電気柵の補助が予定している予算をすでに強化を要求しました。高田県議は、鳥獣被害防止総合交付金は、市町村からの要望に対する配分率が79%にとどまっており、国に予算の拡充を求める」と答弁しました。高田県議は、緩衝帯の整備に取り組む盛岡市の「里山整備事業」を紹介するとともに、地域ぐるみで被害防止対策に取り組む盛岡市猪去地区の取り組みを全県に広げるよう求めました。

## 鳥獣被害防止対策の抜本的強化を求める

11月17日に公表されました。大船渡東高校の調理師養成施設の宮古水産への集約と食物文化者の募集停止について、一番入学者が多く地域とも結びついた

再編計画

# 地域の願いに背を向けた再編計画は見直しを

学科であり、教員不足を理由にせずことは、生徒の希望を奪い、学科の署名が寄せられた地域の願いにも背を向けるものだと厳しく指摘しました。

平館高校の家政科学科の募集停止についても、管内就職率の実績等を踏まえ見直しを求めました。

1万4千筆の署名が寄せられた地域の願いにも背を向けるものだと厳しく指摘しました。

平館高校の家政科学科の募集停止についても、管内就職率の実績等を踏まえ見直しを求めました。

11月17日に公表されました。

大船渡東高校の調理師養成施設の宮古水産への集約と食物文化者の募集停止について、一番入学者が多く地域とも結びついた

等を踏まえ見直しを求めました。

平館高校の家政科学科の募集停止についても、管内就職率の実績等を踏まえ見直しを求めました。

11月17日に公表されました。

大船渡東高校の調理師養成施設の宮古水産への集約と食物文化者の募集停止について、一番入学者が多く地域とも結びついた

等を踏まえ見直しを求めました。

11月17日に公表されました。</p